

調整式ピボットヒンジ

取り付け・調整説明書

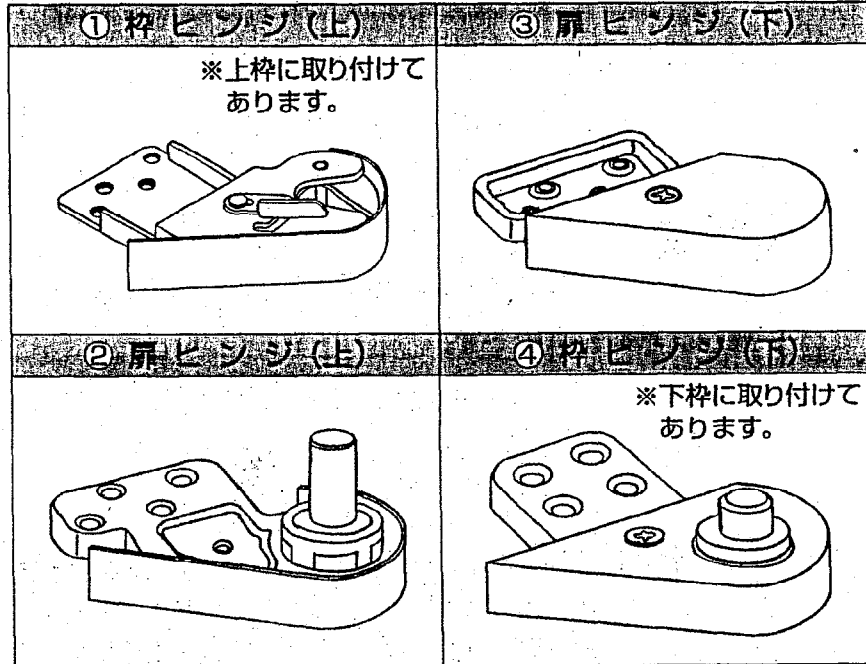
本紙B4サイズ

1 部品一覧表

番号	部品名称	員数
①	枠ヒンジ(上)	1
②	扉ヒンジ(上)	1
③	扉ヒンジ(下)	1
④	枠ヒンジ(下)	1
⑤	取り付けねじ(M5×14皿)	8
⑥	高さ調整ワッシャ(厚さ1.5mm)	2
⑦	M4用六角レンチ	1

(①, ④はあらかじめ上枠, 下枠に取り付け済です。)

2 部品名称

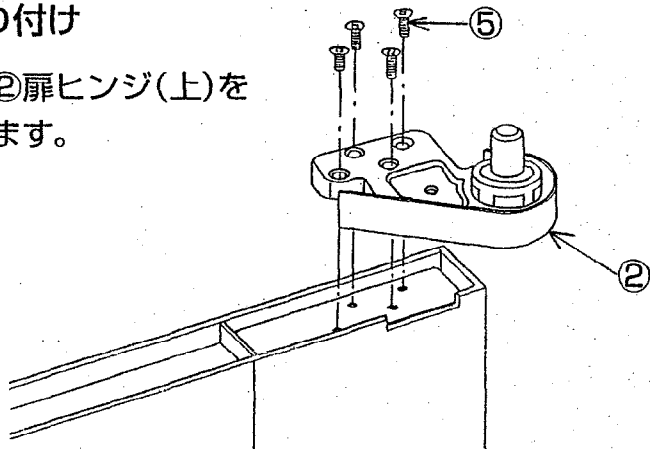


(上図部品は右勝手用です。)

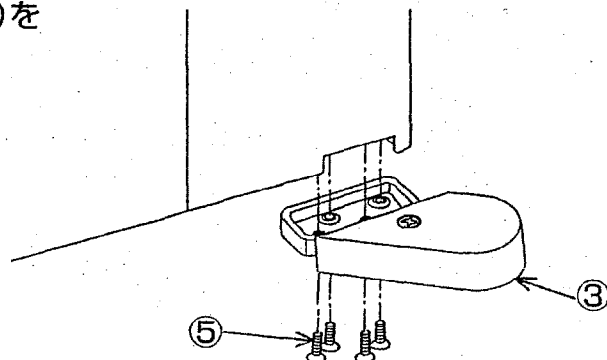
3 取り付け順序・注意(親扉, 両開きドアの子扉には建付け調整式のヒンジ, 親子ドアの子扉には固定式のヒンジをそれぞれ取り付けて下さい。)

(I) 部品の取り付け

扉上部に②扉ヒンジ(上)を取り付けます。



扉下部に③扉ヒンジ(下)を取り付けます。



※取り付けねじは各4本ずつを最後まで完全に締め込んで下さい。

(II) 扉の吊り込み(ワンタッチ吊り込み)

1. 図-1

上枠の①枠ヒンジ(上)より⑥カバーを取り外します。

2. 図-2

③解除レバーを矢印方向に引き④羽根を開いた状態(解除状態)にします。

3. 図-3

扉を45°以上開き③扉ヒンジ(下)を④枠ヒンジ(下)の④軸にはめ込みます。

4. 図-4

扉をおこしながら②扉ヒンジ(上)の④軸を④羽根のV字溝にはめ込みます。

チェックポイント

図-5

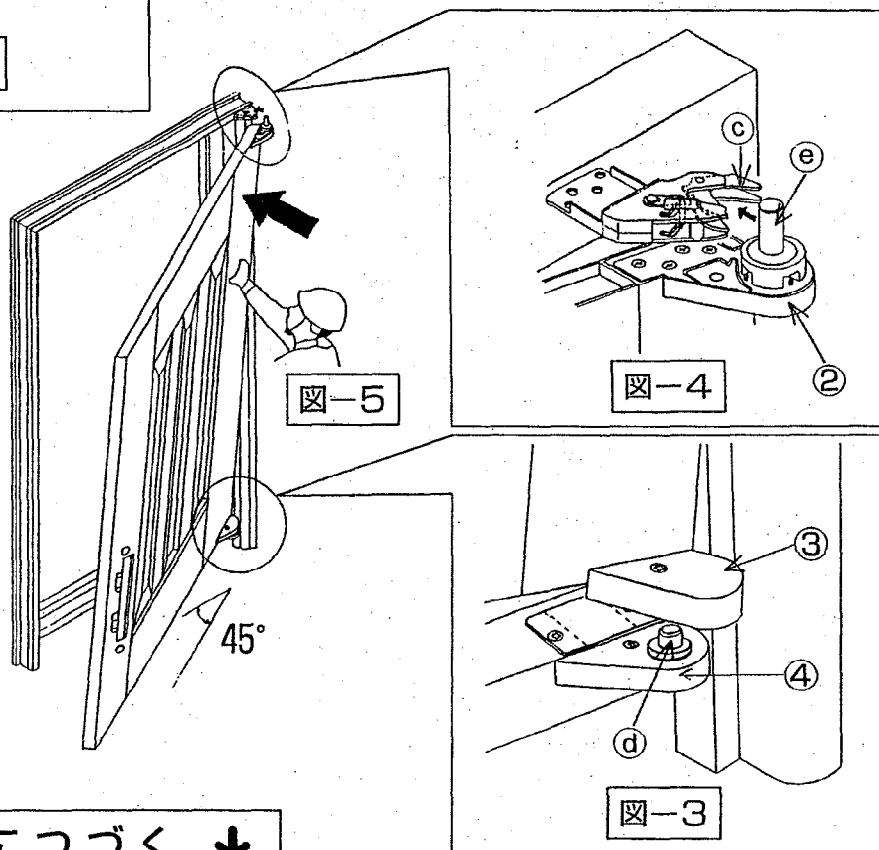
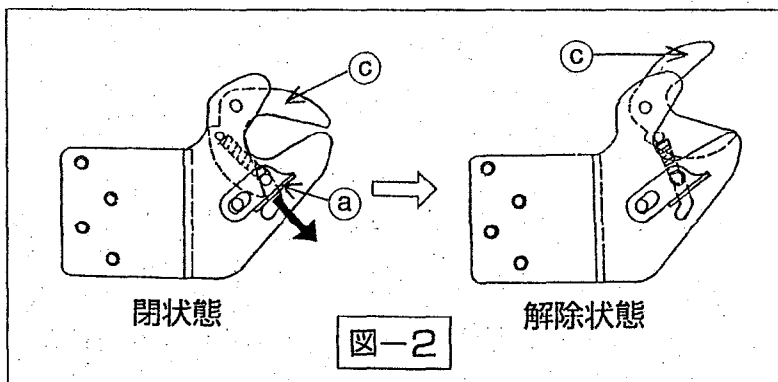
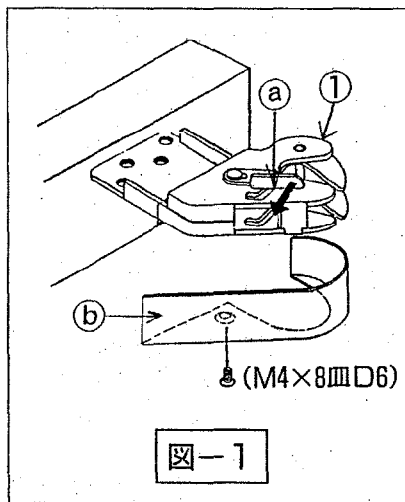
この時、扉の吊元を手でしっかりと押込むと、

図-4

④軸は完全に固定されます。

▲注意

扉を2~3回大きく(90°以上)開閉させて、完全に固定されていることを確認して下さい。



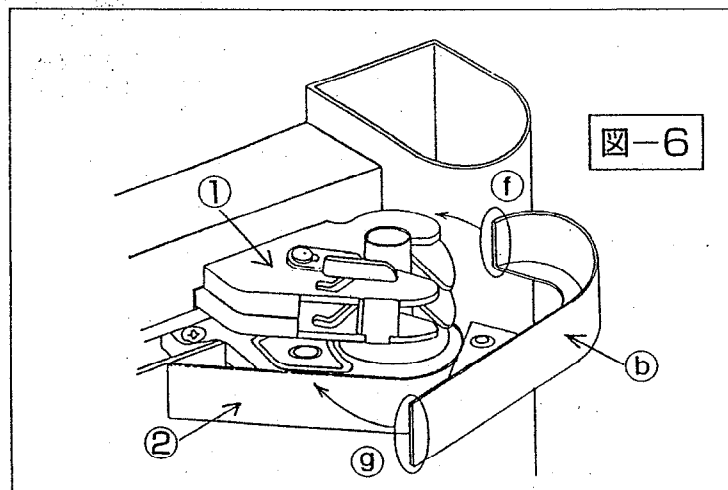
裏面につづく ↓

5. 図-6

扉を開いた状態(約90°)で1. で取り外した⑥カバーを取り付けます。

チェックポイント

この時、①部を奥の方に差し込み、次に⑨部を回転させるとスムーズに入ります。



〔Ⅲ〕扉の外し方

1. 図-1 ⑥カバーを取り外します。

2. 扉を閉じた状態で⑨解除レバーをL字に曲がった位置に動かします。

⚠ 注意

扉を開いた状態では絶対に⑨解除レバーを引かないで下さい。
扉が突然倒れ危険です。

3. 扉をしっかりと保持しながら扉を徐々に開いていきます。

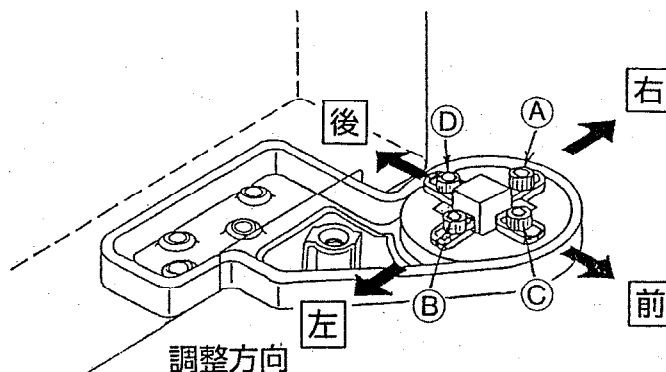
扉の開き角度が30°以上になると外れます。

4 建付け調整 • 注意(親子ドアの子扉は建付け調整付ではありません。)

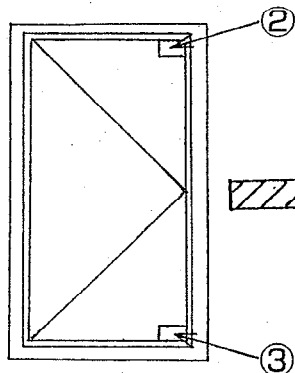
※ヒンジの調整は補助的なものです。(枠を取り付ける時に下げ振り等で前後左右の狂いや柱のねじれを正しく調整して下さい。)

調整範囲

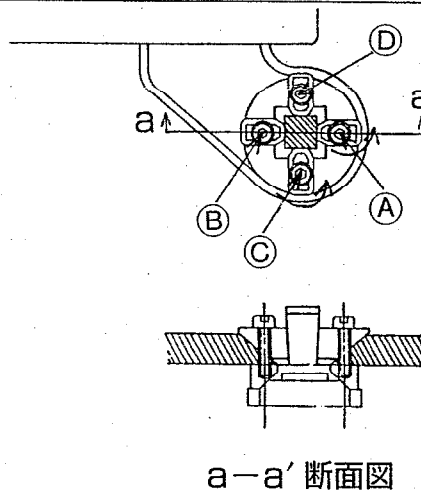
- ②扉ヒンジ(上) 左右 ±3%
- 前後 ±3%
- ③扉ヒンジ(上) 左右 ±3%
- 前後 ±3%
- ④枠ヒンジ(下) 上 +1.5, +3%



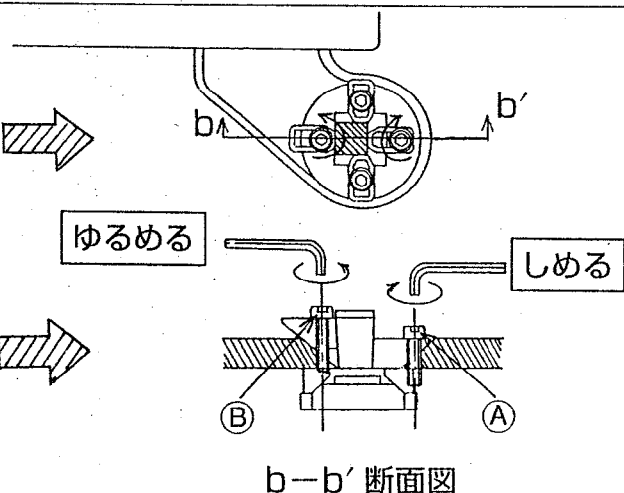
(右方向調整例)



扉を右方向に調整



a-a' 断面図



b-b' 断面図

〔Ⅰ〕左右・前後調整 (枠と扉のチリ(スキ間)を見ながら下記の調整が行えます。)

1. 調整するヒンジよりカバーを外します。
2. ④と⑤のねじを約半回転ゆるめます。(軸の締め付けをゆるめ動きやすくさせます。)
3. [右方向] 上図のように調整ねじ④をゆるめ、次に⑤を締め付ける。
[左方向] 右方向と逆に調整ねじ④をゆるめ、次に⑤を締め付ける。
4. [後方向] 2. を行ったあと調整ねじ⑤をゆるめ、次に④を締め付ける。
[前方向] 後方向と逆に調整ねじ⑤をゆるめ、次に④を締め付ける。
5. 調整が終わりましたら④～⑤4本のねじを必ず完全に締め込んで下さい。

(締め込むときは、レンチは上図のようにねかせて使用して下さい。締め込みが弱いとヒンジがぐらつき危険です。)

6. ヒンジにカバーを取り付けます。

〔Ⅱ〕上下調整

1. 扉をはずし(図〔Ⅲ〕を参照)④枠ヒンジ(下)に同梱の⑥高さ調整ワッシャを入れます。

ワッシャ1枚で扉は1.5%上がります。2枚で3%です。

⚠ 注意

高さ調整ワッシャは2枚までとして下さい。3枚以上入れますと、扉が外れる恐れがあります。

チェックポイント

調整ねじ1回転で約1%動きます。
調整する幅分を先にゆるめていないと調整は行えません。

